

ペット質問箱

ハムスターの寿命、運動控えると伸びる？

生活の質や幸せ 考えて飼育

問 動物の一生の心拍数は決まっていると聞きます。ハムスターは他の動物に比べて短命ですが、運動を控えて心拍数を上げないようにすると寿命は延びるのでしょうか。

答 すべての哺乳類において、一生のうちの心拍数は15億～20億回と言われていました。このうち、特に時間当たりの心拍数が多いハムスターやラットなどの小型哺乳類は寿命が短く、逆に心拍数が少ない鯨や象のような大型哺乳類は寿命が長くなる傾向があります。心拍数と体の大き

さと寿命には相関関係があるようです。

細胞核内にある染色体には、テロメアという細胞寿命に関わる領域があります。細胞分裂を起こすたびにテロメアは縮小し、最終的にはなくなります。なくなると細胞分裂は起こらなくなり、その細胞は寿命を迎えることとなります。

運動を控えると寿命が延びるという明らかな証拠はありませんが、次のような論文が報告されています。実験でハムスターを気温の低い環境下で飼育して休眠状態にすると、テロメアが維持・修

復されたというのです。すなわち、休眠状態になって心拍数が下がると、細胞としての寿命は延びる可能性があるということになります。

しかし、休眠状態にあるとはほぼ動かないということですから。ご飯を食べる回数も遊ぶ回数も少なくなります。寿命が延びる可能性があっても、それがハムスターにとって幸せかということ、少し違うように思います。生き物は好きな物を食べ、好

きなことをして生活の質を担保します。飼い主も動物も、それぞれが幸せになれるような環境をつくるのが重要だと思います。

当然ですが、決してハムスターを低温環境で飼ってはいけません。亡くなってしまう危険性があります。 (山田 輝貴・県獣医師会員)

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhou.dou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

